

# 「不登校という社会問題を考える」 ～ありのままの自分を認めて～



新聞記者による講演会



ソーシャルワーカーの講演会



北斗サタデースクール



生徒同士のミーティング

研究項目	記事内容
あおもりLCOLOプラン	オンライン授業とはどういふものか(個別プログラム)
	COCOLOプランの取組み
	不登校特設って何(青森市内の取組)
夜間中学	適応指導教室とはどういふものか
	適応指導教室に通う生徒の状況
パーチャル家庭教師	夜間中学の歴史と変遷
	夜間中学の仕組み(授業内容)
	夜間中学の課題と解決策
不登校生の親の会	パーチャル家庭教師を活用している学校
	パーチャル家庭教師とは何か
学びの多様化	パーチャル家庭教師のメリット・デメリット
	パーチャル学校について
	親の気持ちの変化
メタバース教育相談室	親の会の活動内容と良い点
	全国の事情(校数、入学条件など)
不登校の支援体制	フレックススクールとの違い(カリキュラムや学びなど)
	岐阜市立草津中学校の取組
	岐阜市立草津中学校の設置目的と設置の背景
メタバース教育相談室	不登校特設のメリットとデメリット
	様々なサポート施設(フレックススクールなど)
	メリットとデメリット
不登校の支援体制	不登校のとらえ方、支援体制の違い(アメリカと日本)
	不登校のとらえ方、支援体制の違い(イギリスと日本)
	各国の支援体制に対する考え方
不登校の支援体制	不登校経験者の将来について
	不登校の現状と課題

新聞 年月日

## 草津中学校やその他の学校の取り組みについて

発行者

草津中学校は、岐阜県岐阜市にある公立の中学校です。本校では、「自分を取り巻く環境を大切に、学びの場を自分らしく創りたい」という理念のもと、様々な取り組みを行っています。授業時間外に7つの時間外活動を実施し、生徒の個性を伸ばすことに努めています。また、学校行事も、生徒の自主性を重んじて実施しています。このように、草津中学校は、生徒一人ひとりの個性を大切に、学びの場を自分らしく創りたいという理念のもと、様々な取り組みを行っています。

草津中学校は、岐阜県岐阜市にある公立の中学校です。本校では、「自分を取り巻く環境を大切に、学びの場を自分らしく創りたい」という理念のもと、様々な取り組みを行っています。授業時間外に7つの時間外活動を実施し、生徒の個性を伸ばすことに努めています。また、学校行事も、生徒の自主性を重んじて実施しています。このように、草津中学校は、生徒一人ひとりの個性を大切に、学びの場を自分らしく創りたいという理念のもと、様々な取り組みを行っています。

新聞 年月日発行

## COCOLOプランってなに？

「こころほっこり新聞」

草津中学校は、岐阜県岐阜市にある公立の中学校です。本校では、「自分を取り巻く環境を大切に、学びの場を自分らしく創りたい」という理念のもと、様々な取り組みを行っています。授業時間外に7つの時間外活動を実施し、生徒の個性を伸ばすことに努めています。また、学校行事も、生徒の自主性を重んじて実施しています。このように、草津中学校は、生徒一人ひとりの個性を大切に、学びの場を自分らしく創りたいという理念のもと、様々な取り組みを行っています。

草津中学校は、岐阜県岐阜市にある公立の中学校です。本校では、「自分を取り巻く環境を大切に、学びの場を自分らしく創りたい」という理念のもと、様々な取り組みを行っています。授業時間外に7つの時間外活動を実施し、生徒の個性を伸ばすことに努めています。また、学校行事も、生徒の自主性を重んじて実施しています。このように、草津中学校は、生徒一人ひとりの個性を大切に、学びの場を自分らしく創りたいという理念のもと、様々な取り組みを行っています。

メタバース 新聞 2025年12月19日発行

## この新聞について

メタバース教育の事例

メタバース教育とは、仮想空間の中で授業を行うことです。自分の分身であるアバターを操作することで、顔を見せずに済むため、登校や相談に対する心理的なハードルが下がります。自分のペースで学習を進めたり他者と交流したりできることが、現実の学校への登校や社会との繋がりを取り戻すきっかけとなります。

メタバース教育とは、仮想空間の中で授業を行うことです。自分の分身であるアバターを操作することで、顔を見せずに済むため、登校や相談に対する心理的なハードルが下がります。自分のペースで学習を進めたり他者と交流したりできることが、現実の学校への登校や社会との繋がりを取り戻すきっかけとなります。

青森市の取り組み「特認校」  
学校や教室に入りづらい子どもたちのために学校内に設置される「校内教育支援センター」で学習することができる。  
市内全域から入学・転校することが可能。

COCOLOプラン  
誰ひとり取り残されない学びの保障に向けた不登校対策  
Comfortable Customized and Optimized Location of learning  
(COCOLO=安心できる個別最適化された学びの場)

- ・ Comfortable→快適に、心地よく感じる
- ・ Customized→カスタマイズされた、自分の好みに合うようにする
- ・ Optimized→最適化された

むつ市の取り組み「メタバース教育相談室」  
仮想空間の中に作られた学校で、授業等の活動や相談を行うことができる。自身の分身であるアバターを操作することで、顔を見せずに済むため、登校や相談に対する心理的なハードルが下がる。  
自分のペースで学習を進めたり他者と交流したりできることが、現実の学校への登校や社会との繋がりを取り戻すきっかけとなる。

新聞 年月日

## 夜間中学新聞

夜間中学の時間割

夜間中学の始まりは第二次世界大戦終結後の一九四五年だった。その時、生活の困窮を解消するために、夜間中学が設置された。これは、戦後の復興期に、多くの若者が進学できなかった中で、夜間中学が重要な役割を果たした。一九七〇年代後半には、少子化が進む中で、夜間中学の役割はさらに大きくなった。現在は、全国的に夜間中学が設置されている。

夜間中学の始まりは第二次世界大戦終結後の一九四五年だった。その時、生活の困窮を解消するために、夜間中学が設置された。これは、戦後の復興期に、多くの若者が進学できなかった中で、夜間中学が重要な役割を果たした。一九七〇年代後半には、少子化が進む中で、夜間中学の役割はさらに大きくなった。現在は、全国的に夜間中学が設置されている。

新聞 年月日

## 適応指導新聞

～適応指導教室とは～

適応指導教室とは、不登校の生徒が安心して学習できる場所です。通常の教室とは異なり、少人数で、個別に学習を進められます。また、先生との距離が近く、質問や相談がしやすい環境が整っています。適応指導教室は、不登校の生徒にとって、学びの場を自分らしく創りたいという願いを叶える場所です。

適応指導教室とは、不登校の生徒が安心して学習できる場所です。通常の教室とは異なり、少人数で、個別に学習を進められます。また、先生との距離が近く、質問や相談がしやすい環境が整っています。適応指導教室は、不登校の生徒にとって、学びの場を自分らしく創りたいという願いを叶える場所です。

新聞 2025年12月19日

## 不登校新聞

日本と外国の不登校の違い

日本の不登校の現状

令和五年年度の日本全国の不登校の生徒の総数は、小学校で約三十一万人、中学校で約二十万人と推定されています。これは、十一年連続で増加しており、過去最大の規模に達しています。不登校の生徒の状況は、全国的に深刻化しています。特に、女子生徒の不登校が増加していることが懸念されています。

日本の不登校の現状

令和五年年度の日本全国の不登校の生徒の総数は、小学校で約三十一万人、中学校で約二十万人と推定されています。これは、十一年連続で増加しており、過去最大の規模に達しています。不登校の生徒の状況は、全国的に深刻化しています。特に、女子生徒の不登校が増加していることが懸念されています。